

日時	発言者	内容	市場への影響
6月4日	トリシェECB総裁	ECBの政策金利は現時点では「適正」と述べ、ユーロ圏の経済成長率は「今年末にかけてはマイナス幅が大きく縮小する。」との見通しを示す。(定例理事会後の記者会見で)	-----
6月8日	クルーグマン プリンストン大学教授	「後から振り返って米国のリセッションの終りが今夏のある時期だったと公式に判定されても驚かないだろう。」と米経済は9月までに景気後退から脱却するとの見方を示した。(ロンドンスクールオブエコノミクスでの講演で)	-----
6月11日	ロックハート アトランタ連銀総裁	「準備通貨としてのドルに差し迫った危機はないが、新興市場の成長に対してドルの地位は徐々に弱まる。」講演会で。	ドル円97円台から一時98円台半ばへ。
6月11日	ルービニ NY大学教授	「準備通貨としてのドルを補完する通貨が浮上するかもしれない。」「いずれドルの役割を低下させるだろう。」アテネでの講演会で。	-----
6月13日	ガイトナー財務長官	「米国のデフレ懸念は後退した。」世界経済については「依然として潜在成長をかなり下回っている。」イタリアでのG8財務相会合で。	-----
6月13日	クドリン ロシア財務相	「ドルの代替通貨を議論するのは時期尚早。」G8財務相会合後、ブルームバーグとのインタビューで。	ユーロ、ポンドなどが対ドルで大きく下落。
6月16日	オバマ大統領	「今われわれがやってることは全て、ウォール街の無謀な行為の後片付けだ。」と金融幹部が痛みを忘れそうなことに警鐘を鳴らした。(ブルームバーグテレビジョンとのインタビューで。)	-----
6月23日	スペンサーディール BOEチーフエコノミスト	「経済成長を喚起するには弱い通貨が経路になる。」と講演で。	ユーロポンドで大幅なポンド安に。 0.8550→0.8599
6月26日	フィッシャー ダラス連銀総裁	「ドルが世界の基軸通貨としての地位を取って代わられることはない。」講演会で。	-----
6月28日	週 中国人民銀行総裁	中国の外貨準備政策は「常にいたって安定したものだ。」として、中国の外貨準備政策を突然変更することはないと表明。(スイスのバーゼルで記者団に)	米株式、債券上昇
6月30日	ロバートシラー 米エール大学教授	「現在、住宅価格の下落は終わりと考えられつつある。」ケーススラー指数発表後のインタビューに答えて。	-----

※尚、このサイトは情報提供を目的としており、投資勧誘を目的とするものでは、ございません。投資の最終判断はご自身でなさるようお願い致します。本サイトの情報により皆様に生じたいかなる損害については弊社及び執筆者には一切の責任を負いかねます。